



大山 晃 議員

人口1万人達成に向けて

福田企画情報課長

地方創生の総合戦略で協議

問 人口増に対する対策について
答 **福田課長** 地方創生の総合戦略について協議している。空き家の貸し手の掘り起こしを促進し、空き家バンク登録に結びつけることが必要

問 人口増に対する対策について
答 **佐矢野課長** 地方創生の総合戦略を見た人から問い合わせは何件あつたか。

問 空き家バンクのホームページを見た人から問い合わせは何件あつたか。
答 空き家を借りたいという問い合わせが多々ある。空き家を借りたい人は非常に多いが、貸し物件が少なく追いつかない状況だ。

問 空き家対策について、ホームページを活用しているか。
答 空き家バンクホームページで情報提供をしている。11件の物件があり、すべて入居していたが、現在2件空いている。

問 調査結果はいつ出るのか。
答 平成28年1月中には調査を終えたいと考えている。

問 町内に250戸の空き家があると聞いているが、空き家の実態は。
答 佐矢野住民課長 250戸の空き家というのは5年前の戸数である。現在、自治会長を通じて調査中である。

問 地域の草刈り、神社や景観の維持などが今後、本当の問題となってくると思うが町としてどう取り組むのか。
答 福田課長 人口減少に伴い、必要な生活サービス、地域の交流や支え合いのため、基幹となる集落、小移住・定住促進につなげており、一定の成果が出ていると考えている。

問 それぞれの事業の成果と費用対効果は。
答 福田課長 ソフト事業であるため正確な費用対効果は出せないが、空き家バンクは登録された空き家11件すべてを貸し出しすることができた。交流サロンには累計1600人以上の訪問者があり、交流・移住・定住促進につなげており、一定の成果が出ていると考えている。

問 高齢化対策としての定住促進対策は。
答 福田企画情報課長 空き家バンク、田舎暮らし研究サロン、コモンパーク彩葉の宅地分譲などを行っている。

問 過疎化・高齢化が進む中、地域からの要望をどうヒアリングし政策に転換しているか。
答 未松長寿福祉課長 現在町内41地区で福祉会議を実施し、要望や困りごとの調査を行っている。ゴミが出せない、買い物に行けないなど様々な要望があがつてきていい。

問 そうした問題に対し行政として対応できるか否かの判断基準は。
答 末松課長 家庭の状況、地域やヘルパーなどで対応が可能かを把握したうえで、個人や家庭で努力してもらうもの、地域で対応してもらうものの、行政でしかできないものを判断している。

問 本町の特色ある少子化対策は。としては、未就学児の発達相談、インフルエンザ予防接種の無料化、特定健診やがん検診などの負担軽減などがあげられ、子育て支援係では、3世代同居世帯への支援や子育て応援プロジェクト事業を実施している。

地域からの要望に对する対応



コモンパーク上毛彩葉

岩花 寛之 議員

少子高齢化対策は

福田企画情報課長

地方創生と関連し定住促進を図る

問 建て替えにあたり、過疎化が進む北海道のように補助金を出すことで民間アパートを誘致することも有効な施策になると考へるが。
答 佐矢野住民課長 今年度は野間町地1戸に対しても7件の応募があった。今後は宅地への応募がある。約200戸の民間アパートがあると推計している。

問 建て替えにあたり、過疎化が進む北海道のように補助金を出すことで民間アパートを誘致することも有効な施策になると考へるが。
答 佐矢野住民課長 町営住宅として、民間アパートの借り上げ、アパートを確保することが将来的な居住希望者を生むことになると考へるが、町営住宅の募集倍率と今後の

問 外の放送の割合は。
答 川口総務課長 行政関係、体育協会などの行事案内がほとんどを占めている。

問 フェイスブックを開設し、放送内容を掲載することで町のホームページとの相乗効果が期待できると思うが検討できないか。
答 川口課長 個人情報なども勘案し、ホームページや町広報の充実を図りたい。

問 放送内容の聞き漏らしや確認のためにホームページなどに内容を掲載できないか。
答 川口総務課長 現時点では町所有の普通財産を住宅地として販売する計画はない。コモンパーク上毛彩葉の完売後に検討する。八ツ並住宅跡地については、条件が整えば分譲を開始したいと考えている。



上毛町役場無線室

ホームページに掲載していると認識しているが、提供件数は少ない感じている。行事内容によつては新着情報などに掲載するかを今後検討し、所管課において積極的に掲載していく。